

⑤ワークショップ

地域の現状把握からはじまり地域の問題点や課題の整理・分析、計画の方向性の提言、計画案・設計案づくりなどを行うのに適した方法。多様な市民がそれぞれの立場で意見を出し合い、時間をかけず、平等かつ合理的に意見をまとめられる。

手法のメリット	手法のデメリット
①参加者をあまり固定しない ②比較的少人数で自由な議論や共同作業を通して合意形成を図れる	①一部の市民だけの意見（市民参画）としてとらえられる
■ワークショップを行うことが適している場合	
①極めて早い段階から市民参画手続を行うことが適当と認められる場合	